

令和2年度 学校全体の自己評価

栃木県立足利女子高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒の主体性を育む指導の充実 (2) 学力向上のための組織的・継続的取り組みの充実
 (3) 希望進路の実現を図る支援体制・協働体制の充実 (4) 知性と品格を持った人間性豊かな生徒の育成
 (5) 統合新校設立のための準備事業の推進

2 重点目標の自己評価

重点目標	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
(1) 生徒の主体性を育む指導の充実	・各部、学年の(1)に該当する項目の合計点 A:26点以上、B:25点以下～0点、C:0点未満	B	コロナ禍の中、職員が一致団結して指導に当たっている。各種ツールの活用など、工夫がなされている。生徒の主体性の更なる伸長を期待する。
(2) 学力向上のための組織的・継続的取り組みの充実	・各部、学年の(2)に該当する項目の合計点 A:10点以上、B:9点以下～0点、C:0点未満	B	学力向上のための様々な取組がなされている。臨時休業期間中も適切な対応がなされた。生徒の希望進路実現に向けて、学力向上の取組の更なる充実を期待する。
(3) 希望進路の実現を図る支援体制・協働体制の充実	・各部、学年の(3)に該当する項目の合計点 A:11点以上、B:10点以下～0点、C:0点未満	B	大学入試改革に対応して生徒への支援体制充実のための努力がなされている。生徒たちの進路実現への意識の更なる高揚を図る取組を期待する。
(4) 知性と品格を持った人間性豊かな生徒の育成	・各部、学年の(4)に該当する項目の合計点 A:20点以上、B:19点以下～0点、C:0点未満	B	コロナ禍の中でも、特別活動等を通して人間性豊かな生徒の育成が図られている。更なる取組を期待する。
(5) 統合新校設立のための準備事業の推進	・各部、学年の(5)に該当する項目の合計点 A:5点以上、B:4点以下～0点、C:0点未満	B	コロナ禍により両校の連携を図ることが難しい中、準備作業が着実に進行している。

評価の基準：〈①各部、学年の重点目標の評価を【A:1点、B:0点、C:-1点】とし、該当する項目(1)～(5)に分類したときの合計点〉

〈②各部・学年の重点目標で(1)～(5)それぞれに該当数する項目数：(1)=43(2)=16 (3)=17 (4)=32 (5)=7)としたとき、①÷②が【A:60%以上、B:60%未満～0%、C:0%未満】

自己評価：A～Cの3段階 【 A:十分に達成できた B:ほぼ達成できた C:達成できなかった 】

3 各分野での自己評価

分野	評価内容	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
(1) 組織運営	・校長と教頭が学校運営でリーダーシップを発揮し、各主任を中心として、全職員が目標の達成に向かって努力したか。	・目標の達成に向かって、組織的な取り組みを図ったか。 ・それらの取組によって効果を上げたか。	B	コロナ禍の中、目標達成に向けて、校長・教頭を中心に職員が一致団結して取り組み、効果を上げている。
(2) 職員の資質向上の取組	・さまざまな校内研修、授業研究、授業評価をとおして、職員の意識変容や授業改善に向けての取組ができたか。	・校内研修等をとおして職員の意識や取組に変容が見られたか。 ・それらの取組によって、授業改善がなされたか。	B	生徒を主体的な学習に向かわせる取組がなされている。更なる授業改善を期待する。
(3) 生徒の学力向上の取組	・学習指導部、進路指導部、教科、学年の連携により、学力向上に向けた課題の把握とその解決を図る組織的な取組ができたか。	・学力向上に向けた部、教科、学年の連携が十分になされたか。 ・取り組みをとおして、生徒の学力の向上がみられたか。	B	部、教科、学年の連携により、学年に応じた段階的指導がなされている。更に組織的な取組を行い、学力の向上を図っていただきたい。
(4) 職場環境づくり (不祥事防止) (働き方改革の推進)	・日頃の校内研修や人間関係づくり等により、不祥事防止に向けた危機管理意識の高揚が図られたか。 ・生徒と向き合う時間をより多く創出するための働き方改革への取組ができたか。	・不祥事防止のための危機管理自校マニュアルの実践等をとおして、不祥事防止に向けた職場環境づくりができたか。 ・生徒と向き合う時間を、より多く創出することができたか。	B	職員が一致団結し、不祥事防止に向けた職場環境づくりができています。生徒と向き合う時間を創出するための更なる工夫を期待する。
(5) 安心安全な学校環境づくり	・全ての教育活動の場面で、生徒の安全を確保するための取組ができたか(感染症対策の強化を含む)。 ・いじめ防止の意識を高める取組ができたか。	・感染症対策への強化を含め、生徒の安全確保のための取組ができたか。 ・いじめ防止への適切な取組ができたか。	B	新型コロナウイルス感染症への対応、いじめ防止の取り組み等、安心安全な学校環境作りがなされている。

自己評価：A～Cの3段階 【 A:十分に達成できた B:ほぼ達成できた C:達成できなかった 】